



新機能および変更された機能に関する情報

- [新機能および変更された機能に関する情報 \(1 ページ\)](#)

新機能および変更された機能に関する情報

次の表は、この最新リリースまでのガイドでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、このリリースまでのこのガイドの変更点や新機能の中には一部、この表に記載されていないものもあります。

表 1: Cisco APIC リリース 4.0(1) の新機能と動作変更

機能	説明	参照先
リモートリーフ設定のPBRトラッキング	リモートリーフ設定でPBRトラッキングを機能させるには、システムレベルのグローバルGIPoを有効にする必要があります。	GUIを使用してリモートリーフのグローバルGIPoを構成する を参照してください。
PBRの復元力のあるハッシュ	PBRの復元力のあるハッシュがリモートリーフ設定でサポートされるようになりました。	ポリシーベースのリダイレクトの修復性のあるハッシュ を参照してください。
サービスグラフでのEPG内契約のサポート	シングルノード、ワンアームPBR、およびシングルノードコピーサービスのEPG内契約を使用したサービスグラフの作成がサポートされるようになりました。	GUIを使用したエンドポイントグループへのサービスグラフテンプレートの適用 を参照してください。

機能	説明	参照先
サービス グラフでの優先グループのサポート	サービス グラフによって作成された EPG を優先契約グループに含めることができます。	GUI を使用したエンドポイントグループへのサービス グラフ テンプレートの適用 を参照してください。
多層アプリケーションプロファイル ウィザードの L3 宛先 (VIP)	コネクタの L3 トラフィックを多層アプリケーションプロファイル ウィザードで終端できるようにになりました。	GUI を使用した多階層アプリケーションプロファイルの作成 を参照してください。
多層サービス グラフ ウィザードのコンシューマおよびプロバイダー L3 アウト	多層アプリケーション クイック スタートで、コンシューマおよびプロバイダー L3 アウトとしてデバイスを指定できるようになりました。	GUI を使用した多階層アプリケーションプロファイルの作成 を参照してください。
サービス VM オーケストレーション	サービス仮想マシン (VM) オーケストレーションは、Cisco Application Policy Infrastructure Controller (Cisco APIC) でのサービス VM の作成と管理を容易にするポリシーベースの機能です。	サービス VM オーケストレーション を参照してください